

令和5年度 第3回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時	令和6年1月24日(水) 14:00~15:30	
開催場所	二宮町役場 第1委員会室	
出席者	委員	出席6名 大田 博樹 委員、高橋 哲夫 委員、成川 一 委員、 渋谷 佳代子 委員、井通 隆正 委員、佐々木 栄一 委員 欠席1名 友野 恵美子 委員
	町	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
傍聴者数	0名	
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議事 (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見書(案)について (2) その他 4. 閉 会	
配布資料	資料1	二宮町総合戦略について(意見書総論)
	資料2	二宮町総合戦略について(意見書各施策)

【議事要旨】

(1) 二宮町総合戦略評価に対する意見書（案）について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

意見書（総論）について

○1点目の新庁舎整備事業の意見に「50年先を見据えたソフト面の整備も必要」とあるが、これは何を指しているのか。今の表現だと委員会としての意図が適切に伝わらないように感じる。

●事務局としては、ハード面ばかりではなく、変化する時代に対応できるよう、ソフト面の整備も考えていかねばならないという意味合いで捉えています。

◎確かにソフト面という記載だけでは、こちらが意図しない捉え方をされる可能性がある。具体的な事例を入れるとすると、どのようなものが考えられるか。

●「デジタルトランスフォーメーション」や「グリーントランスフォーメーション」、「今後の人口減少を見据えた組織の適正化」等がソフト面として挙げられるのではないかと思います。

◎それらの中で、町が特に力を入れて推進しようとしている新庁舎整備に係る取り組みを、ソフト面という文言の前に補足として記載してよいか。

○具体的なソフト面の例を入れた場合、庁舎の耐用年数を50年と仮定すると、例示したソフトが10年や20年しか持たないものになってしまう可能性がある。それを回避するためには、具体的な名称ではなく、システムの最適化をイメージする内容とした方が良くと思う。

●庁舎整備を進める中で、事務局としては、将来的にデジタルトランスフォーメーションの推進や人口減少に伴う職員の減少も見据えた中で、柔軟な対応をしていくため、ソフト面という少々曖昧な表現をしているところです。

○新庁舎整備事業に限定してしまっていることに問題があるので、「50年先を見据えた」の文章の位置を変えるか、コンパクトシティやスマートシティの実現のため、新庁舎整備を進めるとして、文章の順番を逆にすることで、ソフト面の具体化はしなくても良いと思う。

◎コンパクトシティ等を実現するために新庁舎整備事業を進め、町民に丁寧に説明する必要があるという流れにしてはどうか。

○資料2の各論の部分にソフト面に係る意見がないため、それを追記して補足を入れれば良いのではないか。

○「50年先」の表現は、町長や議員の任期よりもずっと長いスパンであることを表すため、あえて具体的な数値を出した。新庁舎整備は町が最重要課題として取り組んでいるため冒頭に書いているが、文章の構成として大きい内容から小さい内容に絞っていく方が良く思う。

- ◎「50年先」という表現について、他に意見はあるか。
- インフラによって耐用年数が異なるため、「次世代」としてはどうか。短期とは思われず、次の世代の事も考えた整備として位置付けることができると思う。
- ◎確かに「未来」よりもスパンが分かりやすく、「50年」よりも確定的でないため、「次世代」と表現する。また、大きい内容から小さい内容に絞っていく文章に組み替えることにする。
- 2点目だけ他の点と比較して具体的すぎるのではないか。
- ◎総論では、前回の委員会で議論になったポイントを項目立てしているが、順調に進んでいることからあまり議論にならなかった子育て支援施策についても取り込み、両施策とも継続して実施していく必要があるとまとめてはどうか。
- 前回の委員会では、東大果樹園跡地の課題が関心の高い問題だったため、このようなまとめになるのは理解できる。この議論の根底には、公園管理に相当な支出をしていながら、東大果樹園跡地は一部の利用者、吾妻山公園は主に町外からの観光客が恩恵を受け、町民全体のためになっていないのではないかという感情がある。
- ◎東大果樹園跡地の利用が前面に出ているため、他と比較して具体的に見えるが、「町有資産の有効活用について」という項目とし、その一つとして東大果樹園跡地の課題や、図書館などのうまくいっている事業について述べてはどうか。
- 1つ目の項目に合わせるのであれば、そのような形が良いと思う。
- ◎では、2点目は町有資産の有効活用について述べる項目とし、東大果樹園跡地以外の施設についても指摘しつつ、東大果樹園跡地の課題について指摘する形とする。

意見書（各論）について

施策：公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

- 先ほど委員からご指摘のあった「50年先を見据えた」というご意見は、総論に記載したため、各論からは削除していましたが、改めて意見として記載することでよろしいでしょうか。
- 総論の補足として各論があると考えているので、各論でより分かりやすく記載されていると良いと思う。
- ◎総論を見てから各論を確認することで、意見の意味合いがよりイメージできるため、改めて記載すること。

施策：地域で支えあう体制の構築

- 2文目の「見直し」は、これだけでは内容が漠然としていて読んでいる人にイメージが伝わらないのではないか。
- ◎確かにこれだけでは漠然としているため、具体例などが入ると良い。
- 前回、「伝統的なコミュニティは人の善意で行われているので、行政として人的金銭的な支援が必要」というご意見と、「民生委員のような特定の役員に相当な負担がかかっている」というご意見があったため、これらの課題を統合した文章としました。

- 3文目で具体的な課題を挙げているので、3文目で補足してはどうか。
- 2文目を具体的な課題を述べている3・4文目の後に下げて、それらの課題を包含した文章としてはどうでしょうか。
- ◎ 文章の順番を入れ替えることで、課題を包含した文章にできるため、そのように修正すること。

施策：地域コミュニティの醸成支援
意見なし

施策：二宮らしい魅力の創出と発信
意見なし

施策：特色ある教育活動の推進
意見なし

施策：妊娠から子育てまでの切れ目のない支援
意見なし

施策：仕事と子育ての両立支援
意見なし

施策：地域商工業の活性化

◎この施策の意見は総論に書かれているのか。

●前回会議で議論が集中したものを総論に挙げているため、基本目標3と基本目標4は総論に記載していません。

○行政の補助金は新たな事業や取り組みを対象とするが、既存のものは対象とされない。しかし、既存の有益な仕組みは新たな仕組みより費用がかからないうえに、実績も確認できるため、これに該当するコミュニティプレイスとしての商店街なども補助金の対象とするべきと考えている。営利企業に向けた補助金は行政として難しい部分があることは承知しているが、すでにプレミアム商品券などの事業があるように、やり方を工夫することで可能な部分がある。

◎営利企業に向けた補助金は難しい部分もあると思うが、地域を活性化するためにも経済部分に支援をしていくことは重要である。総論においても「地域活性化の一つの手段として、商工業の振興を目的とした二宮ブランドへの支援」などといった記述を入れてはどうか。

○商工業の項目を総論に入れた方が良いのではないか。

○総論3点目の4文目「伝統的なコミュニティ」は地域コミュニティを掘り下げている文章だが、商店街や学童なども地域コミュニティに関連するため、ここに入れ込む

ことは可能だと思う。

◎では、「伝統的なコミュニティ」の文章の「見直すよう働きかけるとともに」の後に商店街に関する記述を入れ、地域商工業の活性化に触れること。

○総論が課題の羅列になっているが、評価が良好な子育ての分野についても総論に記述してはどうか。例えば、総論の2段落目で「概ね順調であると評価できます。」と言い切り、その後に具体例を記述してはどうか。

○子育て支援についても地域コミュニティに関連しているため、3点目の地域コミュニティの記述で、評価の良かった子育て支援などの具体例を挙げ、その後に課題になっている高齢者の見守りなどを記載しても良いのではないか。そうすると各論の議論が網羅できるのではないか。

●総論の序文に子育て分野などで良い評価があったことに軽く触れ、個別の項目の3点目にある地域コミュニティの部分で具体的な内容を記載していくということではいでしょうか。

◎序文で評価の良かった子育てや図書館などの分野について触れ、個別項目の3点目で子育て支援の具体事例について記載すること。

●1点確認ですが、総論の個別項目の3点目で、子育てや商店街について記述を追加する指示をいただきましたが、「地域社会の基盤である地域コミュニティについて」から始まると追記が難しいと思うのですが、そのままが良いでしょうか。

○商業という営利的なものではなく、コミュニティとしての商店街という視点で書けば問題ないので、そのままが良いかと思う。

◎商業というより、みんなで盛り上げていくというコミュニティの視点という事で、そのままが良い。

施策：地域農林業の活性化

○二宮の炭焼き会が生産している木炭は、神奈川県が生産量の半分に相当するとその会の人が言っていた。もし本当であれば貴重な活動であるため、一度調べてもらいたい。

(2) その他

・総合戦略の評価方法について、次年度より新たな評価システムに移行するため、委員の皆さまのご意見等あれば、システム作成の参考とさせていただきたい。

(主な意見交換等)

○委員会で議論して出した意見については、ぜひ実現してもらいたい。

○意見書がどのように反映されたのかが分からない。そのため、せっかく意見書を出したが、行政は取り入れてくれなかったという気分になってしまう。

○この戦略評価に出ている事業は全体のごく一部で、これら以外のいわゆる許認可等

のルーティン業務も多忙だと考える。できれば評価の一助として、それらの業務にも目が行く資料等を出すことで、適正な評価につなげてもらいたい。また、他の委員からも意見が出ていた「良い評価」についても記載していくようにしてもらいたい。

○この委員会は意見が言いやすいと感じている。ただ、事業を実施している職員と評価委員の関係性が薄いと感じるので、委員会の日程を増やしてでも事業の概要や進捗についてプレゼンしてもらえると理解しやすく、関係性も築けると思う。また、委員長が意見書を町長に提出するにあたって、意見書に対する町長の感想や今後に向けての抱負などについて委員に知らせてもらいたい。

●全ての項目に対しては難しいですが、町長の感想を皆さんにお伝えすることは可能だと思いますので、今回から実施したいと思います。

○町長は日曜朝市などによく来ていて、その時間にざくばらんな意見交換をしており、非常に開かれた行政だと感じている。これからもその姿勢を維持してもらいたい。

◎意見にあったとおり、意見書がどのように反映されたのかフィードバックすること。

【以 上】